



ソフトの開発手法の一種。コンピュータの画面や利用者が用いる言葉の単位を逐次ソフトを組み立てる独自の方式を業務システムの構築期間を大幅に短縮できる。システム構築を手掛けるカテナのソフト開発子会社、ソフトウェア生産技術研究所(東京・港)の根来文生社長が開発し、日本製のソフト開発手法として初めて米国や日本で特許を取得した。

ソフト開発は通常、プログラムを効率的に作成するための命令の定義や構文の規則などの体系をもつプログラ

Lvee 日本発のソフト開発手法

$$T_v = \phi(\sum_{i=1}^n (W_{04_i} + W_{02_i} + W_{03_i}))$$

T_v	ソフトウェアの標準 パレット連続関数	$W_{04} = \phi(Y_4 + L_4 + P_4 + PS_4 + PN_4)$
F	$(W_{04} + W_{02} + W_{03})$ のリンク	$W_{02} = \phi(P_2 + L_2 + PN_2)$
S_{01}		$W_{03} = \phi(W_{02} + W_{04})$
W_{04}	W_{04} パレット	$W_{03} = \phi(Y_3 + L_3)$

「Lvee」を用いたプログラム例

meta
meth

論、名称は「ソフトの撰理に関する統一理論」を意味する「go version metal meth」の改良や再利用の際も開発者のノウハウに頼る必要がある。

ミンギ言語を使う。操作対象に重点を置いてデータと操作を一体化してプログラムするオブジェクト指向な開発手法として多用されており、ネット対応のプログラムミンギ言語「Java a(ジャバ)」などを利用する。「Lvee」は開発しようとしている画面や帳票に用いる言葉に対し最適なデータを指定すれば、開発ツールで個々のプログラムを型に合わせて連携して構築される。リーは言葉の属性と対象とするデータを指定すれば、従来の五分の一から十分の一ですみ、プログラム仕様書などの文書類も減る。通常のソフトでは他のプログラムへの影響を考慮しなければならぬうえソフトの改良や再利用の際も開発者のノウハウに頼る必要がある。

odology
for
software
provide
nce」の各単語の語尾の略。

従来はこうした言葉を機能に置き換えてプログラムするため

に、要件を詳細に定義する必要があったが、開発者の成熟度によりプログラムが異なる難点があった。リーは言葉の属性と対

象とするデータを指定すれば、開発ツールで個々のプログラムを型に合わせて連携して

構築される。リーは言葉の属性と対象とするデータを指定すれば、従来の五分の一から十分の一ですみ、プログラム仕様書などの文書類も減る。通常のソフトでは他のプログラムへの影響を考慮しなければならぬうえソフトの改良や再利用の際も開発者のノウハウに頼る必要がある。